

施策・事務事業マネジメントシート【令和7年度】

【施策と関連するSDGsの目標（ゴール）】



1 施策の基本情報(Plan)

施策名	25 利便性の高い交通体系の確立
目的	対象 市内全域の道路・踏切
	意図 安全、快適、円滑に通行や移動ができる
施策の方向	都市交通の円滑化を図るため、広域的な視点や地域のまちづくりとの一体性なども考慮した道路網計画に基づく道路ネットワークの形成に取り組むとともに、東部地区における交通環境の改善に向けた取組を推進し、安全かつ利便性の高い交通体系の構築に取り組みます。

2-1 施策全体の考察①（施策の目的、方向に対する考察）

施策の目的、方向に対する考察（Check・Action） 「調布市道路網計画」に基づき、都市計画道路と生活道路の一体的な整備を推進し、円滑に移動できる道路ネットワークの形成に向け、着実に整備を推進した。 また、計画検討路線に位置付けた各路線について、関係者との協議を実施し、今後の方向について検討を進めた。 あわせて、「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」の計画期間が令和8年3月に終了となることから、本方針と連動した「調布市道路網計画」の見直しを図る。
--

2-2 施策全体の考察②（まちづくり指標の推移／考察）

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値		目標値 (目標年度)	指標の推移 (※)	考察
			(令和5年度)	(令和6年度)			
自宅等から目的地まで円滑に移動できる道路ネットワークが形成されていると感じる市民の割合	%	60.9 令和4年度	65.2	65.7	70.0 令和8年度	○	・道路整備には長い期間を要し、短期間では市民の皆様が整備効果を実感していただけでは難しいのが実情である。 ・今後も、選択と集中を図りながら、道路整備を進めるとともに、短期的な安全対策を講じながら安全で快適な道づくりを推進していく必要がある。
駅周辺の利便性が高いと感じている市民の割合 (つつじヶ丘駅・柴崎駅利用者)	%	38.1 令和4年度	45.4	41.2	40.0 令和8年度	◎	・柴崎駅周辺の踏切付近におけるカラー舗装化による歩行空間の明確化や、駅前の用地を取得して歩行空間を確保した。 ・引き続き地区の特性やまちづくりの課題を踏まえ、地元まちづくりの機運醸成に努める。
普段利用している道路が通行しやすいと感じている市民の割合（徒歩）	%	63.8 令和4年度	65.4	65.1	70.0 令和8年度	▼	・都市計画道路の整備により歩道を確保するとともに、歩車道が分離されていない道路についても、安全で快適な歩行空間の確保に努める。 ・「調布市道路総合管理計画」（令和6年3月策定）に基づき、道路施設の効率的・効果的な管理を実現していく。
道路に関する市民からの要望件数	件	1,864 令和3年度	1,960	1,461	1,100 令和8年度	○	・令和5年度から減少した。 ・草刈りやせん定を適切な時期に実施することで要望件数の減につなげた。

※ ◎：目標達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ又は前年度数値未把握） —：数値未把握（調査未実施など）

3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績／今後の方向

■25-1 円滑な道路ネットワークの形成

No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
83	【重点④】 道路網計画に基づく計画的な道路ネットワークの形成	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・調布3・4・21号線の電線共同溝整備 ・調布3・4・26号線（旧甲州街道～甲州街道）東側の電線共同溝及び道路の整備 ・調布3・4・26号線（京王線～旧甲州街道）の電線共同溝整備 ・調布3・4・28号線の用地取得・電線共同溝及び道路の整備 ・計画検討路線の関係機関協議 ・調布3・4・9号線の用地取得・道路設計 ・調布3・4・31号線の用地測量・都市計画変更 ・調布3・4・8号線の用地測量 ・調布3・4・11号線の路線測量	☒ 現状継続 ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・事業中路線の用地取得、設計、整備 ・調布市道路網計画に基づき、優先整備路線の事業化及び検討 ・計画検討路線の検討及び関係機関協議 ・「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」の計画期間終了に伴い、本方針と連動した調布市道路網計画の見直し検討 ・調布3・4・21号線の電線共同溝及び道路の整備 ・調布3・4・26号線（旧甲州街道～甲州街道）東側の道路の整備 ・調布3・4・28号線の用地取得・電線共同溝及び道路の整備 ・調布3・4・9号線の用地取得・電線共同溝の設計

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)

■25-2 都市交通の円滑化の推進

No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
84	【重点④】 東部地区における 交通環境の改善	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・令和5年度に引き続き、連続立体交差事業調査を実施 ・踏切道改良促進法に基づく改良計画の検討 ・関係機関との協議・調整	☒ 現状継続 ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・京王線連続立体交差事業調査 ・踏切道改良促進法に基づく改良計画の検討の作成・国提出 ・関係機関との協議・調整
No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
85	交通環境の改善による 沿線まちづくりの推進	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・つつじヶ丘まちづくり準備会、柴崎駅と周辺街づくり協議会の運営支援（施策23と連動） ・（仮称）つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺地区まちづくり基本計画の検討（施策23と連動）	☒ 現状継続 ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・（仮称）つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺地区まちづくり基本計画の策定（施策23と連動） ・基盤整備と連動したまちづくりの検討（施策23と連動）

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)

■25-3 人と環境にやさしい道路空間の整備

No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
86	人と環境にやさしい道路の整備	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・安全で快適な歩行空間の確保を目指して無電柱化事業を行っている市道C20号線について、支障となる水道管の移設工事（補償工事）と水路付替工事を実施した。 ・省エネルギーの推進による環境に配慮した低炭素社会の実現のため、街路灯のLED化を順次進めた。	☒ 現状継続 ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・人と環境にやさしい道路の整備として、令和7年度～令和8年度に市道C12号線の設計を行う。 ・市道C20号線の無電柱化事業は、令和7年度に電線共同溝の本体構築工事、令和8年度以降に電線企業者の引込連携設計及び工事を順次行う。 ・街路灯のLED化については、既存の蛍光灯等を順次交換し、引き続きLED化の取組みを継続し令和12年度までに市内街路灯のLED化100%を目指す。

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①羽毛下通り桜街路樹の整備（植樹）	①「調布市街路樹管理計画（令和6年4月策定）」持続可能で健全な街路樹の管理

■25-4 道路施設等の総合的な管理の推進

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①電子化した道路台帳を市ホームページにて一般公表 ②街区境界調査手法による地籍調査事業を進め、下石原二丁目（1）が完了 ③「舗装維持管理計画」に基づき、舗装の補修工事を実施 ④「橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、橋りょうの点検、補修等を実施	①現在窓口で職員が確認した紙の境界図を来庁者がコピーしているが、窓口で誰でも境界図を選んで印刷できるシステムを導入するなど、市民の利便性向上を推進する。 ②街区境界調査を下石原二丁目で引き続き実施し、将来の災害復旧への備えを整備する。 ③適切な舗装維持管理を行い、舗装の健全性の維持とライフサイクルコスト削減に努める。 ④橋りょうや舗装、安全施設などの管理について、施設横断的な優先度を設定したうえで、引き続き、計画的に橋りょうの定期点検を実施し、橋りょうの長寿命化を図る。

4 施策の推進、成果向上の視点（4つの視点）を踏まえた令和6年度取組実績及び令和7年度以降の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
・ 占用申請等のデジタル化の検討【令和6年度・7年度以降】 ・ L I N E 通報システムの活用【令和6年度・7年度以降】	・ （仮称）つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺地区まちづくり基本計画の検討（施策23と連動）【令和6年度】 ・ （仮称）つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺地区まちづくり基本計画の策定（施策23と連動）【令和7年度】
脱炭素社会の実現	フェーズフリー
・ 街路灯のLED化による脱炭素の推進【令和6年度・7年度以降】 ・ 車道の中温化舗装の施工によるCO ₂ 削減【令和6年度・7年度以降】	・ 道路は、自動車や歩行者、自転車等の交通機能はもとより、市街地形成、防災、環境等の空間形成機能を有しており、これらの道路の持つ役割や機能を発揮できるよう道路網計画に基づく整備の推進【令和6年度・7年度以降】 ・ 無電柱化の促進【令和6年度・7年度以降】

5 後期基本計画期間（令和9年度～令和12年度）における施策の方向整理に向けた検討

・ 令和7年度末に改定予定の調布市道路網計画に基づいた計画的な整備の推進 ・ 都市計画諸制度を活用した誘導方策や産業振興とも連携した地域特性を生かしたまちづくりの検討
--